

1 節 文化振興

1 目標

宮古島市民の様々な芸術活動を支援するとともに、伝統文化や新たな地域文化の振興を図ることを目標とします。

2 現状と課題

宮古島市では、市民総合文化祭や文化ホールを活用した自主文化事業の開催、宮古島市文化協会をはじめとする各文化団体の活動支援などを通して、文化の振興に取り組んでいます。

一方、近年は市民主体による地域文化を活かしたイベント等も開催され、市民の文化に対するニーズは多岐にわたり、ますます高まっています。

今後は、多様化する市民のニーズに応えるため、新たな文化活動のサポートや各文化団体への支援強化を図ります。

また、当市は地理的要因から、優れた舞台芸術に接する機会が少ないのが現状です。そのため、様々な芸術鑑賞普及事業や教育普及事業などを積極的に活用し、児童・生徒や市民の皆様が高い芸術にふれる機会の創出に努めます。

3 施策項目

- (1) 宮古島市児童・生徒の文化活動発表の場として、宮古島市総合文化祭（児童・生徒の部）を開催します。
- (2) 多くの市民が文化活動に参加できるように、音楽・演劇・ダンスなど多様な自主文化事業を開催します。
- (3) 芸術・文化団体の育成および支援を行います。
- (4) 国や県が実施する文化普及事業等を活用し、芸術性の高い文化に接する機会を提供します。

4 令和2年度 事業計画

(1) 市単独事業

○宮古島市民総合文化祭

「創造する市民の文化」をテーマに、これまで培ってきた芸能や技術の向上を図ると共に発表の機会を設け、多くの市民が参加し芸術文化に対する理解と認識を深めることを目的とする。

事業名		開催日・場所	
『一般の部』	展示部門	10月23日（金）～25日（日）／JTAドーム	
	史跡巡り	11月3日（火）／調整中	
	こどもシアター	11月8日（日）／未来創造センター多目的ホール	
	発表部門	音楽祭	調整中
		芸能祭	12月20日（日）／マティダ市民劇場
		芸術劇場	2021年1月24日（日）／マティダ市民劇場

事業名		開催日・場所	
『児童・生徒の部』	展示部門	10月23日（金）～25日（日）／JTAドーム	
	発表部門	音楽祭	11月8日（日）／マティダ市民劇場
		郷土のお話大会	調整中
	表彰式	12月13日（日）／未来創造センター多目的ホール	

(2) 主な共催事業

事業名	開催日・場所	概要
第4回宮古島文学賞	応募期間 …10月1日～31日 最終選考 …2021年2月4日 入賞作品発表 …2021年2月5日 授賞式・祝賀会 …2021年3月上旬	古来より口承文芸や英雄叙事詩など個性豊かな土壌として、今日まで受け継がれてきた宮古島の文学風土の中で営々と流れる文学への思いを礎として、文芸活動の更なる振興を図り、島を渡る風と珊瑚礁に育まれる「文学」を宮古島から発信することを目的に実施。 主催：（一社）宮古島市文化協会
第27回鳴りとうゆんみゃ〜く方言大会	9月26日（土） マティダ市民劇場	地域の共有財産である宮古方言が、若年層のみならず中年世代においても話せない人々が増えていることを危惧し、文化の基層をなす方言に今一度思いを深め「みや〜くふつ」の豊かさを共有し、各世代のさらなる認識を深め、継承することを目的に実施。 主催：（一社）宮古島市文化協会

(3) 主な助成事業

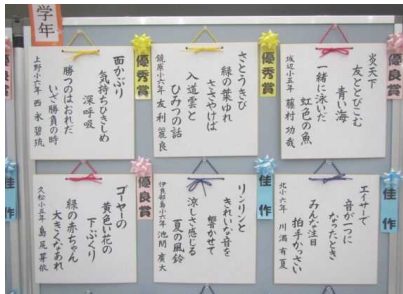
事業名	開催日・場所	概要
〈文化庁助成事業〉 文化芸術による子供育成総合事業(芸術家の派遣事業)	12月14日(月) ～17日(木) 平良第一小学校 久松小学校 城辺小学校 西辺小学校 砂川小学校	小学校・中学校等に芸術家を派遣し、講話、実技披露、実技指導を実施することにより、子供たちの豊かな創造力・想像力や、思考力、コミュニケーション能力などを養うとともに、将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造に資することを目的に実施。 派遣芸術家：棟久 木綿佳

5 令和元年度 文化事業の実績

宮古島市民総合文化祭 『児童・生徒の部』

〈展示部門〉 10月25日(金)～10月27日(日)

書道・美術・文芸・自由研究・工作



宮古島市民総合文化祭 『児童・生徒の部』

〈発表部門〉

音楽祭 11月9日(土)



郷土のお話大会 11月30日(土)



表彰式 12月21日(土)



宮古島市民総合文化祭 『一般の部』

〈展示部門〉 10月25日(金)～10月27日(日)

美術・華道・書道・文芸・茶道・生活文化・写真・盆栽・園芸・織物・方言部会



(発表部門)

こどもシアター 10月27日(日)

音楽祭 10月13日(日)

芸能祭 12月22日(日)



芸術劇場 2020年1月19日(日)

(郷土史部門)

史跡巡り 11月3日(日)



(文化祭プレイベント)

Openアトリエ 10月19日(土)～10月20日(日)



2 節 文化財

1 施策項目

(1) 文化財の保護・活用

- ①埋蔵文化財の発掘調査・出土資料整理
- ②宮古島市neo歴史文化ロード整備事業の推進
- ③文化財保護と調査・研究及び環境整備の推進
- ④宮古島市史の編さん
- ⑤歴史考古資料の活用
- ⑥文化財の学校教育への普及
- ⑦各文化財管理団体等との連携
- ⑧県指定天然記念物宮古馬の保護

2 令和2年度 事業計画

(1) 文化財の保護・活用事業

- ①市内遺跡発掘調査事業
- ②市埋蔵文化財公開活用事業
- ③国指定史跡「大和井」土地買上事業
- ④宮古島市neo歴史文化ロード整備事業
- ⑤文化財保護審議会の開催
- ⑥宮古上布伝承者養成事業
- ⑦宮古馬保存会事務局
- ⑧各種開発に係る緊急発掘調査（民間開発/県公共工事）
- ⑨文化財保存活用地域計画作成事業

(2) 市史編さん事業

- ①宮古島市史「祭祀編下巻」及び「自然編第Ⅱ部」の刊行
- ②宮古島市史資料の発行

3 施策の推進体制

(1) 文化財保護審議会

- ①文化財保護審議会は教育委員会の諮問に応じて、文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議し、及びこれらの事項に関して建議する。
- ②文化財保護審議会は、次の専門4部会で構成されている。

第1部会	有形文化財に関する事項
第2部会	無形文化財に関する事項
第3部会	民俗文化財に関する事項
第4部会	史跡・名勝・天然記念物に関する事項

(2) 宮古島市史編さん委員会

- ①市史編集に関する基本的大綱に関する事項
- ②市史編集に関する調査及び資料収集に関する事項
- ③その他市史編集に関する必要な事項

3節 総合博物館

宮古島市総合博物館

所在地：〒906-0011 宮古島市平良字東仲宗根添1166-287

電話：73-0567 FAX：73-0822

敷地面積：10,000㎡／建築面積：2,020㎡／展示面積：620㎡（常設展示及び特別企画展示室）

1 基本方針

宮古の歴史、民俗、自然科学、美術・工芸の4部門からなる総合博物館であり、宮古全域の自然と風土、歴史と文化にふれることができるような博物館づくりを目指している。

宮古圏域住民の文化活動・文化振興の拠点として、さらに島外から訪れる観光客や研究者へ宮古島を紹介するとともに、宮古にかかわる史資料の収集・保存・調査研究の成果を地域の人々に公開する場として、地域に根ざした様々な活用を図る。

2 常設展示

(1) 第一展示室

①歴史部門

宮古が史書に登場するのは比較的新しく、14世紀になってからのことである。

以後、争乱時代・豊見親時代・人頭税制時代・廃藩置県・旧慣改正期・第二次世界大戦と宮古の人々は様々な経験を経てきた。また、考古・歴史部門では宮古に人々が住み着いた時代から太平洋戦争までの歴史の流れを編年体で紹介している。

渡来人と遺跡	世替わり前の事件と災害
婆羅公管下密牙古人	台湾災害事件
按司時代と目黒盛豊見親	ロベルトソン号救助
与那覇勢頭豊見親	下地仁屋利社殺害(サンシー)事件
朝鮮人漂流民の見た宮古	学校創設
仲宗根豊見親	人頭税廃止運動と土地整理
人頭税制下の宮古	日露戦争と宮古
西洋人の見た宮古	太平洋戦争と宮古

②民俗部門

沖縄の復帰後、宮古の人々の生活も大きく変化してきた。しかし、昔から引き継がれてきた伝統芸能や民俗行事などは、今もなお各地に継承されている。

民俗部門では、明治から昭和初期のカヤヤー(茅葺き家)を復元、当時の住居生活を紹介するとともに民具やジオラマ展示を用いて農耕・漁業・信仰・各地の主な民俗行事などを展示している。

衣 食 住	水と生活	漁 業
農 耕	民俗行事、信仰	

(2) 第二展示室

①自然科学部門

宮古諸島の原形はおよそ1万年前にできたといわれ、島全体が琉球石灰岩で覆われている。

自然科学部門では、宮古諸島の生い立ちを始め動物・植物・昆虫・天体・海洋・気象のコーナーを設け、実物資料やジオラマ展示を用いて宮古の自然を紹介している。特に「大野山林の鳥・ジオラマ」等は親子そろって楽しめるものである。

○宮古諸島の自然

気候、水の循環、地下水盆、地下ダム

○宮古諸島の成り立ち

島尻海岸の断層崖、陸橋の形成、不整合、石灰岩

- 宮古で発見された化石
ミヤコノロジカ（レプリカ）及び密集岩・ハシナガソデガイの化石・ゾウの化石
シマジリクジラの化石・サメの歯化石
- 宮古諸島の鳥類
大野山林の鳥、池間湿原の鳥類、サシバの渡り、アカハラダカの渡り
- 宮古諸島の植物、昆虫
- 宮古諸島のほ乳類、は虫類、両生類
- 宮古島の海水に生息するエビ、カニ類
- 潮間帯（磯）の小動物たち

②美術・工芸部門

他の地域と異なる歴史と風土の中で育まれた宮古の文化は、特色ある織物や焼き物等の美術工芸品を生み出してきた。美術工芸部門では、宮古島市指定文化財となっている「旧家所蔵品」を中心に宮古の人々が創作や使用、あるいは鑑賞してきた美術工芸品を紹介している。

扁額聯	宮古上布製作工程	焼物
書(掛軸)	絵(掛軸)	焼物変遷コーナー
工芸品	絵画	織物

3 沖縄振興特別推進交付金事業を活用した取り組み

(1) デジタルコンテンツの整備

宮古島の歴史・文化・自然等を映像コンテンツを整備し、来館者へ情報をわかりやすく提供している。

①第一展示室

宮古の歴史と民俗を展示している。

島尻のパーントゥのレプリカの前にタッチパネル式端末を設置し、島尻のパーントゥ、野原のパーントゥの映像を提供している。御嶽コーナーでは、既存のボタン式のランプ点灯による御嶽の場御嶽の状況を所紹介に加え、宮古島市史年表の下に写真を設置し、更にタッチパネル式端末により御嶽映像も提供しよりわかりやすくしている。

②第二展示室

宮古の自然と風土を展示している。

「台風について」と「地球温暖化について」のコーナーにタッチパネル式端末を設置しており、地下水コーナーにおいても、宮古島の地下水の様子を分かりやすくジオラマを制作し、また、タッチパネル式端末にて農業と地下ダムの関係や様子を映像で見ることができる。同様に、宮古上布・針突コーナーではタッチパネル式端末を整備し、映像を提供している。

③ものしり博物館

博物館を入り、左側のコーナーに総合的なコンテンツとしてものしり博物館を設置している。

メインは、画面で見える写真と動画コンテンツで宮古島の史跡や遺跡などを数多く紹介し、中央の大型テレビで宮古島の民俗芸能、国指定、旧石器時代の遺跡、先史時代の遺跡、戦争遺跡、自然など85点の映像を見ることができる。バックパネルには東平安名崎や赤瓦屋根、石積みを描き宮古島の雰囲気表現している。

(2) 収蔵品目録作成事業

調査研究や資料収集・展示・保存・教育の普及の基礎となる収蔵資料等の整理と目録作成は、博物館の課題とされてきた。

平成23年度の「旧家資料編」を皮切りに、順次、平成24年度に「自然資料編」、平成25年度に「歴史資料編」、平成27年度に「民俗資料編」と、収蔵品の目録収録の冊子を刊行した。

これら目録作成により、収蔵品を可視化することで、今後、研究活動や学習の場などで活用されることを目標とする。平成29年度は、「美術工芸資料編」の目録を刊行した。

4 令和2年度 事業計画

(1) 企画展

	事業内容	期間
第37回	<p>「サシバ展」</p> <p>サシバは、青森県以南に夏鳥として渡来し低山や丘陵地帯で繁殖し、寒露の頃、秋の渡りの際に大群で宮古諸島に立ち寄り羽を休めます。 かつて宮古では、サシバを捕獲し食糧やペットとして飼育され市場にも並ぶ貴重な換金動物であった。そのため、サシバが保護鳥に指定された後も密猟が相次ぎ、保護思想を地域住民に浸透させるのは至難の業であったが、行政や関係者の地道な努力が実を結び、現在、サシバの密猟はなくなった。 絶滅危惧Ⅱ類（VU）に分類されているサシバについて、その生態や宮古の人々とサシバの関わりなどととも紹介し、市鳥であるサシバに親しむ機会とする。</p> <p>【関連行事】 講話「サシバについて」 講 師：久貝 勝盛 氏（宮古野鳥の会）</p>	<p>令和2年 7月中旬～ 9月末</p> <p>令和2年 8月中旬</p>

(2) 特別展示

	内 容	期 間
慰霊の日 関連平和 展	<p>「特攻艇と宮古」</p> <p>太平洋戦争中、宮古に配備されていた特攻艇部隊に焦点をあて、部隊の配備された経緯や特攻艇が格納された秘匿壕などの紹介をとおして、宮古における戦争について学ぶ機会とする。</p> <p>【関連行事】 「特攻艇秘匿壕巡り」 講 師：久貝 弥嗣 氏（宮古島市教育委員会生涯学習振興課 職員）</p>	<p>令和2年 5月29日(金)～ 6月28日(日)</p> <p>令和2年 6月21日(日) 9:00～12:00</p>

(3) ミニ展示

	事業内容	期間
1	<p>「昔のおもちゃ展」</p> <p>子どもの目にあわせ昔のおもちゃを展示し、体験してもらうことで、これらのおもちゃを知らない世代の子どもたちにも、かつての遊びを学び楽しむ機会とする。</p>	<p>令和2年 4月24日(金)～ 5月10日(日)</p>

(4) その他展示会

	事業内容	期間
1	<p>令和2年度地域の特色ある埋蔵文化財公開活用事業 関連展示「海の歴史にふれる～宮古島の水中文化遺産～」 主 催：宮古島市教育委員会 生涯学習振興課 文化財係</p>	<p>令和2年 8月5日(水)～ 8月23日(日)</p>
2	<p>琉球王国文化遺産集積・再興事業 「手わざ～琉球王国の美」展 主 催：沖縄県立博物館・美術館</p>	<p>令和2年 11月8日(日)～ 11月22日(日)</p>

(5) 子ども博物館

第1回	<p>「開講式」、「博物館探検」</p> <p>博物館の見学をとおして、博物館の役割や学芸員の仕事を学ぶ。</p>	<p>4月下旬(日) 9:00～12:00</p>	<p>博物館職員</p>
-----	--	-------------------------------	--------------

第2回	「野草の観察会と野草料理」 食べられる野草を観察採取し、野草料理を作ることで宮古の自然について興味関心を深める。	6月(日) 9:00～13:00	川上 勲 氏 (元高校教頭)
第3回	「科学を楽しもう！」 科学実験をとおり、身近な科学を学ぶ。	9月6日(日) 9:00～12:00	亀山 明子 氏 (元博物館嘱託職員、 元中学校理科教諭)
第4回	「十五夜のふきやぎ作り」 旧暦8月15日(今年は10月2日)の十五夜に作られる「ふきやぎ」を作り、宮古の十五夜について学ぶ。	9月下旬(日) 9:00～13:00	調整中
第5回	「名勝をスケッチ」 宮古の名勝をスケッチすることで、美術に対して親しむ機会とする。	11月(日) 9:00～13:00	調整中
第6回	「綾道めぐり」、「閉講式」 綾道をめぐり、史跡や遺跡を見学することで宮古の歴史を学ぶ機会とする。	2月(日) 9:00～13:00	調整中

(6) 博物館講座

回数	内 容	日 時	講 師
第21回	「ワラザンについて」	令和2年 秋	佐々木健志氏(琉球大学博物館(風樹館)学芸員)
第22回	「野草の観察会」	令和2年 秋～冬頃	川上 勲 氏(元高校教頭)

5 令和元年度 事業実績

(1) 企画展

	事 業 内 容	期 間
第35回 企画展	「みや昆一昆虫大集合」 平成31年3月、宮古島市教育委員会より『宮古島市史 第3巻 自然編 第1部(本編)みやこの自然』が発行された。同書は、2012年10月より編纂事業が開始され、7年近い年月をかけて宮古の自然にスポットをあて、宮古の地形や生息する様々な動植物などの調査研究がなされた。本展示では、その調査研究の過程で採取された昆虫やその写真、宮古の人々と昆虫との関わりを紹介することで、島の子どもたちに自然に対する興味関心を深める機会とする。 入館者数：7,185人 【関連行事】 「虫と友だちになろう！」 講 師：佐々木 健志 氏(琉球大学資料館(風樹館)学芸員) 参加者：29人	令和元年 7月19日(金)～ 9月1日(日) 令和元年 8月4日(日) 10:00～12:00
第36回 企画展	「平成29・30年度新収蔵品展」 平成29～30年度にかけて、当博物館に寄贈及び寄託された資料を広く市民の皆様に周知させることを目的とし、歴史、民俗、美術工芸、自然、視聴覚、図書資料を紹介することで、幅広い分野を学ぶ場とする。 また、当博物館に寄贈、寄託された皆様に感謝するとともに、今後の資料収集活動への協力をお願いかける機会とする。 入館者数：1,742人	令和2年 1月24日(金) ～ 2月22日(土)

(2) 特別展示

	内 容	期 間
慰霊の日 関連平和 展	<p>「戦中の宮古～造られた3つの飛行場～」</p> <p>戦中、宮古島に設営された3つの飛行場に焦点をあて、飛行場が設営された経緯や配属された部隊、学徒動員や地域住民の強制移住など、戦中の宮古について学ぶ機会とする。</p> <p>入館者数：2,052人</p> <p>【関連行事】</p> <p>「伊良部地区の戦跡巡り」</p> <p>講 師：久貝 弥嗣 氏（宮古島市教育委員会生涯学習振興課職員） 森谷 大介 氏（同嘱託職員）</p> <p>参加者：20人</p>	<p>令和元年 5月24日（金）～ 6月25日（火）</p> <p>令和元年 6月23日（日） 9:00～12:00</p>
特別展示	<p>宮古島市総合博物館開館30周年記念「宮古の宝 三十選展」</p> <p>本年は当館が開館して30周年の記念の年である。 11月1日の開館記念日にあわせ、当館に収蔵されている資料約2万3000点の中から、宮古の歴史・民俗・自然・美術工芸を代表する資料や珍しい資料など30点（件）を選び展示する。また、博物館の30年のあゆみを紹介し、博物館に親しむ機会とする。</p> <p>入館者数：3,088人</p> <p>【関連行事】</p> <p>「宮古島市総合博物館開館30周年記念式典」</p> <p>場所：博物館正面入り口</p>	<p>令和元年 11月1日（金） ～12月22日 （日）</p> <p>令和元年 11月1日（金） 11:00～11:30</p>

(3) ミニ展示

	事 業 内 容	期 間
1	<p>「昔のおもちゃ展」</p> <p>子どもの日にあわせ、昔のおもちゃを展示し体験してもらうことで、幼少時代の懐かしい遊びを思い出してもらう。また、これらのおもちゃを知らない世代の子どもたちにも、両親、祖父母からかつてのおもちゃを学び楽しんでもらうことでコミュニケーションを図る機会とする。</p> <p>入館者数：757人</p>	<p>平成31年 4月26日（金）～ 令和元年5月12日 （日）</p>

(4) 子ども博物館

回 数	概 要	日 時	講 師
第1回	<p>「開講式」、「綾道めぐり～平良・久松コース～」</p> <p>平良・久松（松原・久貝）地区の史跡を巡り、地域の歴史や文化に触れる機会とする。</p> <p>参加者：19人</p>	<p>令和元年 5月12日（日） 9:00～12:00</p>	<p>久貝 春陽 氏 （宮古島市教育委員会 生涯学習振興課 職員）</p>
第2回	<p>「野草の観察会と野草料理～野草肉だんごみそ汁を作ろう～」</p> <p>大野山林の食用植物を知るとともに、実際に採集した野草を調理することで、郷土の自然と文化に対する理解を深める。</p> <p>参加者：23人</p>	<p>令和元年 6月16日（日） 9:00～13:00</p>	<p>川上 勲 氏 （元高等学校教頭）</p>
第3回	<p>「科学をたのしもう！」</p> <p>演示や実験を通して、身の回りにひそむ科学に気づく芽を育てる。</p> <p>参加者：19人</p>	<p>令和元年 8月25日（日） 9:00～12:00</p>	<p>亀山 明子 氏 （元中学校理科教諭）</p>
第4回	<p>「十五夜のシーシャ作り」</p> <p>宮古の十五夜について学び、平良の一部地域で行われる十五夜のシーシャを実際に作ることで島の文化を学ぶ。</p> <p>参加者：14人</p>	<p>令和元年 10月13日（日） 9:00～12:00</p>	<p>與那覇 史香 （宮古島市総合博物館 学芸員）</p>

第5回	<p>「紙すき体験」</p> <p>国の重要無形文化財であり、伝統工芸品でもある宮古上布の原料である苧麻を使って紙すきを体験することで宮古上布や苧麻紙を身近に感じる機会とする。</p> <p>参加者：16人</p>	<p>令和元年 12月15日(日) 9:00～12:00</p>	<p>仲間 伸恵 氏 (琉球大学教育学部 ・准教授)</p>
第6回	<p>「海業センター見学」、「閉講式」</p> <p>宮古の海へ、魚を放流する事業を主体として始まった海業センター。現在は、シャコ貝類などの養殖事業を始めている。今回、シャコ貝の植え付け作業を通して、宮古の海業について考える機会とする。</p> <p>参加者：20人</p>	<p>令和2年 2月16日(日) 9:00～12:00</p>	<p>島田 剛 氏 (宮古島市海業センター 職員)</p>

(5) 博物館講座

回数	内 容	日 時	講 師
第19回	<p>「城辺ぱり鉦山から見た大神島の地形・地質学的イベント」</p> <p>参加者：42人</p>	<p>令和元年 12月21日(日) 14:00～16:00</p>	<p>安谷屋 昭 氏 (元宮古島市文化財保護 審議会委員)</p>
第20回	<p>「グローバルな視点からみた宮古島諸島の成り立ちや環境」</p> <p>参加者：20人</p>	<p>令和元年 10月5日(日) 14:00～16:00</p>	<p>藤田 和彦 氏 (琉球大学理学部・教授)</p>

① 研究展「宮古島に生息する鳥の生態研究」

期 間：令和元年7月25日(木)～9月1日(日)

主 催：北海道大学大学院理学院 多様性生物学講座Ⅲ

協 力：宮古島市総合博物館 宮古野鳥の会

② 「稲村賢敷生誕125年記念 海城アジア倭寇について考える」シンポジウム関連展示

期 間：令和元年10月2日(水)～10月13日(日)

主 催：宮古島市教育委員会

共 催：琉球・沖縄歴史研究会

後 援：沖縄県立博物館・美術館

6 施策の推進体制

宮古島市総合博物館協議会委員

博物館協議会委員の職務（総合博物館協議会規則第2条）

協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに館長に対して意見を述べるものとする。

4節 文化ホール

1 設置目的

住民の舞台芸術活動を推進し、住民文化の創造に寄与するとともに、住民生活の向上を図る。

2 施設の概要

所在地：〒906-0013 宮古島市平良字下里108-12

①延床面積	4,354.61㎡	892席	⑤舞 台	三菱重工カトシステム [®]
②客 席	固定席	747席	間 口	18m
	移動席	133席	奥 行	14m
	(うち障害者車椅子席 25席)		高 さ	8m
	背たおれ席	12席	床面材質	桧集成材
	親子観覧室	8㎡×2室	バ ト ン	8本
③楽 屋	楽 屋 1 (洋室)	59.00㎡	反響板	有り
	楽 屋 2 (和室)	71.05㎡	緞帳	速度調整可
	楽 屋 3 (個室)	18.74㎡	⑥照 明	調光設備 松村電機製作所
④ホワイエ(ロビー)	347.91㎡		⑦音 響	音響設備 TOAエンジニアリング [®]

3 施設の開館日及び開館時間

(1) 開館日

火曜日から日曜日（ただし、祝日法による休日、年末年始及び慰霊の日は除く）

(2) 開館時間

午前9時から午後10時まで（催物のない場合は、午前9時から午後5時まで）

4 施策の推進体制

宮古島市文化ホール運営委員会

委員の職務（文化ホール運営委員会規則第2条）

- (1) 宮古島市文化ホール（以下「文化ホール」という。）の運営基本計画に関すること。
- (2) 文化ホールの自主事業に関すること。
- (3) 文化ホールの利用普及に関すること。
- (4) その他教育長が必要と認めること。

5 自主文化事業

(1) 事業の基本理念

宮古島市文化ホールは“音楽もできる劇場型多目的ホール”という位置づけがされている。地域独自の風土の中で育まれた文化の育成と、住民が質の高い芸術文化活動を鑑賞または経験して、新たな文化と伝統文化の融合・発展を先導するための文化拠点とする。

(2) 事業の内容

- ①鑑賞事業 住民に質の高い舞台芸術を鑑賞する機会を提供する。
- ②文化育成事業 住民の自主的な文化創造活動を支援する。
- ③文化交流事業 住民の芸術文化活動と他地域の芸術文化活動の交流促進を図る。

6 令和2年度事業計画

4月	通常業務（貸館）
5月	通常業務（貸館）
6月	通常業務（貸館）
7月	通常業務（貸館）
8月	通常業務（貸館）
9月	通常業務（貸館）
10月	通常業務（貸館）
11月	通常業務（貸館）
12月	通常業務（貸館）
1月	通常業務（貸館）
2月	劇団かなやらび夏公演「ニーリの花」（新作） 「マティダストリートダンス5」
3月	第5回マティダお笑い劇場

7 令和元年度 事業実績

事業内容	
1	<p>劇団かなやらび支援事業</p> <p>劇団かなやらびは、宮古島市内の子どもたちの表現力・創造力の向上を目指して、平成24年から活動を続けています。宮古島市文化ホールは、宮古島を舞台とするオリジナル劇の創作、そして鑑賞することをおし、地域文化の向上と地域の誇りの伝承を目的に、その活動を支援しています。令和元年度は「マークファンタジー 碧の涙雨」を8月10日から11日まで再演しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: right;">観客数779名</p>

事業内容

2

「マティダストリートダンス4」
「2019サマーダンスキャンプin宮古島」

「生きる力」を育むことを目的に、学習指導要領に取り入れられている現代的なリズムのダンス(ストリートダンス)をとおして、学生による新しい地域文化の創造、仲間との共感を育むことを目的に、ダンスの公演(8月25日)とダンスキャンプ(ワークショップ 8月23日～24日)を開催しました。

【出演者】101人 【観客数】500人



3

宮古島市芸術文化支援事業

リフレッシュや疲労回復などを意味する方言「ブガリノース」をテーマに、宮古方言等の伝統文化の継承と新たな地域文化の創造、[笑い]の舞台を提供することで市民の明日への活力につなげることを目的に、平成27年度より「マティダお笑い劇場」を開催する実行委員会を支援しています。令和元年度も令和2年3月に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

8 令和元年度利用状況

① 月間稼働率

	稼働可能日	稼働実日	稼働率(%)
4月	24	1	4.2
5月	22	5	22.7
6月	25	12	48.0
7月	26	10	38.5
8月	23	19	82.6
9月	23	5	21.7
10月	26	14	53.8
11月	25	18	72.0
12月	23	16	69.6
1月	24	15	62.5
2月	23	16	69.6
3月	26	4	15.4
合計	290	135	46.6

② 目的別利用状況

催し物の種別	回数	比率(%)
音楽	26	37.1
演劇	2	2.9
舞踊	8	11.4
伝統芸能	4	5.7
演芸	6	8.6
総合	4	5.7
上記以外の文化芸術系公演	3	4.3
文化芸術系以外の講演等	17	24.3
合計	70	100.0

③ 入場者数月間稼働率

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
4月	150	1,570	2,830	800	600
5月	3,840	4,710	4,230	2,900	2,060
6月	4,922	2,770	5,630	4,832	3,850
7月	4,290	1,610	4,490	3,700	2,810
8月	2,050	2,180	1,450	1,700	3,200
9月	1,392	2,930	700	3,360	900
10月	6,900	8,170	5,590	3,850	3,600
11月	8,637	5,930	4,350	5,910	7,600
12月	5,070	5,170	2,240	6,472	5,900
1月	4,684	5,020	2,760	1,360	3,930
2月	2,520	2,580	2,295	2,630	3,800
3月	7,721	3,260	5,794	4,568	1,450
合計	52,176	45,900	42,359	42,082	39,700